

担当講座	神経精神科学講座	問合せ先	神経精神科学講座
分野責任者	大塚 耕太郎 教授	連絡先	内線2011
担当教員	大塚 耕太郎 教授 八木 淳子 教授 福本 健太郎 准教授 三條 克巳 講師 山家 健仁 講師 三田 俊成 講師 内出 希 講師 吉岡 靖史 助教 本多 笑奈 助教 松下 祐 助教 星 克仁 非常勤講師 遠藤 仁 非常勤講師		
人材育成の 基本理念	精神病理学、精神医学史、医学哲学、社会精神医学、文化精神医学、臨床精神医学、児童精神医学、生物学的精神医学、コンサルテーション・リエゾン精神医学などの知識を持つ臨床研究者を育成する。		
主な研究内容	広義の精神病理学についての研究を行う。研究手法として主に疫学調査、臨床介入研究の手法を用いる。対象となる疾患は精神疾患全般であり、児童から高齢者まで幅広い年代を扱う。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	心理・社会的な領域についての学んでいくことで、精神科専門家としてふさわしい知識、科学的思考法を修得する。さらに自ら研究課題を立案、遂行し、課題を解決できるようになる。	1,2,3,4,5,6,7,8	
到達目標	到達目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる。	ベーシックセミナー、精神病理学、精神医学史、医学哲学、社会精神医学1・2、精神病理学各論1・2、精神医学特論1・2	
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論、社会精神医学1・2、精神病理学各論1・2、精神医学特論1・2	
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、精神病理学各論1・2、精神医学特論1・2	
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる（英文が望ましい）。	特別研究ⅠⅡⅢ、社会精神医学2、精神医学特論1	
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、精神病理学、精神医学史、医学哲学、社会精神医学1・2、精神病理学各論1・2、精神医学特論1・2	
	(6)次世代の人材育成に貢献できる。	特別研究ⅠⅡⅢ、大学院セミナー	
	(7)心理・社会的な各分野の種類やそれぞれの意義を説明できる。	精神病理学、精神医学史、医学哲学、社会精神医学1・2、精神病理学各論1・2、精神医学特論1・2	
(8)各分野について、そこに必須とされる概念を挙げ、説明できる。	精神病理学、精神医学史、医学哲学、社会精神医学1・2、精神病理学各論1・2、精神医学特論1・2		
資格取得等	精神保健指定医、日本精神神経学会専門医、子どものこころ専門医の取得に必要な知識と技能を修得できる。		
履修に関する 情報	勤務等で授業に出席できない場合は、日程等の調整に応じる。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。		

## ●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究特論	1～4年	講義 精神病理学	前期	15	2	20単位	※20単位以上の取得可
		講義 精神医学史	後期	15	2		
		講義 医学哲学	通年	30	4		
		講義 社会精神医学1	前期	15	2		
		演習 社会精神医学2	後期	15	2		
		講義 精神病理学各論1	通年	30	4		
		演習 精神病理学各論2	通年	30	4		
		講義 精神医学特論1	通年	30	4		
講義 精神医学特論2	通年	15	2				
特別研究	2年	特別研究Ⅰ（初期審査）	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者 対象科目
	3年	特別研究Ⅱ（中間審査）	通年	8	1		
	4年	特別研究Ⅲ（論文作成）	通年	15	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

神経精神科学

コード	MD14211010					MD14211020					MD14211030					MD14211040				
科目	精神病理学					精神医学史					医学哲学					社会精神医学 1				
科目責任者	大塚耕太郎					大塚耕太郎					大塚耕太郎					大塚耕太郎				
担当者	大塚耕太郎、福本健太郎					大塚耕太郎、星克仁					星克仁					大塚耕太郎 八木淳子、三條克巳				
会場	神経精神科医局					神経精神科医局					神経精神科医局					神経精神科医局				
区分等	区分	講義	単位	2		区分	講義	単位	2		区分	講義	単位	4		区分	講義	単位	2	
	回数	前期15コマ	配当年次	1～4		回数	後期15コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4		回数	前期15コマ	配当年次	1～4	
主な授業内容	精神症状論と精神疾患論					古代から20世紀に至る精神医学史と臨床精神医学					医療倫理と精神医療倫理					精神医学における地域介入（自殺対策・災害精神医学・従事者教育）				
教育成果	1.精神科症候学を説明できる。 2.代表的精神疾患を説明できる。					1.精神医学的疾患概念を説明できる。 2.精神科治療の変遷を説明できる。					1.精神科臨床における倫理を説明できる。 2.関連する法規や制度を説明できる。					1.自殺ハイリスク地域へのアプローチを説明できる。 2.災害精神医療の地域へのアプローチを説明できる。 3.精神医療従事者への教育的アプローチの実際を説明できる。				
コピー番号/達成度	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5
	B	C	C	-	-	B	C	C	C	C	B	C	B	C	C	A	B	A	B	A
コピー番号/達成度	コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8		
	C	A	C			C	C	C			A	A	C			A	B	A		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書	精神症候学 第2版 弘文堂																			

コード	MD14211050					MD14211060					MD14211070					MD14211080				
科目	社会精神医学 2					精神病理学各論1					精神病理学各論2					精神医学特論 1				
科目責任者	大塚耕太郎					福本健太郎					福本健太郎					八木淳子				
担当者	大塚耕太郎、遠藤仁					福本健太郎、三田俊成					福本健太郎、三田俊成					八木淳子、山家健仁、吉岡靖史、内出希				
会場	神経精神科医局					神経精神科医局					神経精神科医局					神経精神科医局				
区分等	区分	演習	単位	2		区分	講義	単位	4		区分	演習	単位	4		区分	講義	単位	4	
	回数	後期15コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4		回数	通年30コマ	配当年次	1～4	
主な授業内容	精神医学における地域介入（自殺対策・災害精神医学・従事者教育）					神経症性・ストレス関連障害の精神病理と認知行動療法など心理的アプローチの理論、生物学的精神医学の基本知識					神経症性・ストレス関連障害の精神病理と認知行動療法など心理的アプローチの実際、生物学的精神医学のアプローチ法					こどもの心のケア				
教育成果	1.自殺対策の方法論を実践できる。 2.災害精神医学を説明できる。 3.精神医療従事者への教育的アプローチを説明できる。					1.神経症性・ストレス関連障害の精神病理と認知行動療法など精神科治療法を説明できる。 2.生物学的精神医学の基本領域を説明できる。					1.神経症性・ストレス関連障害の精神病理の把握と各治療の効果判定の概要を説明できる。 2.生物学的精神医学の基本領域の手法概要を説明できる。					1.子どもの心の発達やメンタルヘルス問題を説明できる。 2.子どものメンタルヘルス問題へのケアを説明できる。				
コピー番号/達成度	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5	コピー1	コピー2	コピー3	コピー4	コピー5
	A	A	A	B	A	A	A	B	C	C	B	A	A	A	A	B	A	A	A	A
コピー番号/達成度	コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8			コピー6	コピー7	コピー8		
	A	A	A			B	B	C			B	B	C			B	B	C		
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。																			
評価方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなどにより総合的に評価する。																			
講義日程	時間割参照																			
教科書参考書						カプラン臨床精神医学テキスト 第3版 メディカルサイエンスインターナショナル					カプラン臨床精神医学テキスト 第3版 メディカルサイエンスインターナショナル									

●各科目の授業計画

神経精神科学

コード	MD14211090					MD14219020					MD14219020					MD14219030				
科目	精神医学特論 2					特別研究 I					特別研究 II					特別研究 III				
科目責任者	三條克巳					各(正)指導教員					各(正)指導教員					各(正)指導教員				
担当者	三條克巳 松下祐、本多笑奈					各指導教員					各指導教員					各指導教員				
会場	神経精神科医局					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定					各指導教員と相談の上決定				
区分等	区分	講義	単位	2		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	1		区分	演習	単位	2	
	回数	通年15コマ	配当年次	1~4		回数	通年8コマ	配当年次	2		回数	通年8コマ	配当年次	3		回数	通年15コマ	配当年次	4	
主な授業内容	コンサルテーション・リエゾン精神医学					・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調査の作成 ・初期審査の準備					・生命科学や研究手法の専門的な知識 ・中間審査の準備					・生命科学や研究手法の発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備				
教育成果	1.医療連携の概要を説明できる。 2.精神科チーム医療を説明できる。 3.緩和ケア、救急医療、認知症治療、合併症治療など他科連携の概要を説明できる。 4.がん告知後の反応について説明できる。					生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査> 2年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調査等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 3年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調査に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成> 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。				
	コピー番号/達成度	コピー1 A	コピー2 A	コピー3 A	コピー4 B	コピー5 A	コピー1 C	コピー2 C	コピー3 C	コピー4 C	コピー5 C	コピー1 B	コピー2 B	コピー3 B	コピー4 B	コピー5 B	コピー1 A	コピー2 A	コピー3 A	コピー4 A
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 【2021年度以降の入学者】 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 【2020年度までの入学者】 講義の出欠は履修手帳で管理する。 <当該科目に関連する実務経験の有無 有> 大学病院等における医師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 初期審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「初期・中間審査の手引き」を参照。					各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。				
	評価方法	【2021年度以降の入学者】 「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】 出席、レポートなどにより総合的に評価する。					「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。													
講義日程	時間割参照																			
教科書																				
参考書																				

## ●時間割

## 神経精神科学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20				精神病理学 各論1	医学哲学	共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10	精神病理学	精神医学特論2	精神医学特論1	精神病理学 各論2	社会精神医学1	
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10		特別研究1~III				
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20				精神病理学 各論1	医学哲学	共通教育科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10	精神医学史	精神医学特論2	精神医学特論1	精神病理学 各論2	社会精神医学2	
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10		特別研究1~III				

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						